

# 園長通信

ちぐさこども園 園長 榎渕 洋介

2023.07.20 Vol.25

π

## 《何気ない日常にて》

### ●6月中旬のハチ騒ぎ

この時期よくあることですが、この日も年長児が「園長先生、ハチがいる！やっつけてー」と職員室に駆け込んできました。殺虫スプレーを持って現場へ急行すると、園庭奥のビワの木の辺りを1匹のハチがブンブン飛んでいました。見事ハチに的中させると、弱ったハチが築山の脇の土の上で苦しそうに身体をよじらせています。

身悶えるハチを囲んで、男児数人が「園長マンすごい」「やっつけたねえ」とワイワイと話している中、一人Y君はじっとハチを見つめて「苦しそう…」とハチの気持ちに心を馳せているようでした。

「死んじゃうのかな」と言いながら、静かに看取るY君。一方、ビワに話題が移った他の子は、何人かが「カキだよ」「ライチじゃない？」といい加減な果実名当てしている中、K君が「ビワは千葉の名産」と真っ当な回答を言って、場を納めたのでした。

### ●7月上旬の牛乳仕分け

毎朝、その日の給食で飲む牛乳やジュースが、箱に入った状態で正面玄関脇の大きなテーブルの上に届きます。担当は特に決まっておらず、気づいた子、やりたい子が箱から出して、クラス別のカゴに仕分け作業するのが最近の朝の風景です。

この日も年少児数人が嬉しそうに、箱から4つパックになった牛乳を出し、ビニールを切って1つずつにした牛乳をクラス毎のカゴに入れていました。

ふとすると、誰かの大きな泣き声が職員室に聞こえてきました。駆けつけると、Yちゃんがテーブルの上に座って、顔に留まるハエも気にすることなく、一心不乱に泣いています。その割には、一緒に作業していたNちゃんやRちゃんは、淡々と仕分け作業を続けています。「どうしたの？」ときくと、Yちゃんは泣くのに一所懸命で答えず、2人はやれやれといった表情で「よくわかんない」。

怪我等ではなさそうだったので、とりあえず「困ったねえ」とYちゃんの気持ちが収まるのを待っていると、今度はビニールを切るために使っていた定規の取り合いに敗れたR君が「えーん」と両手を目に当てて私にアピール。「叩いて取るのはダメだよ」なん

てことを私がR君に言っている側で、周りの子はやっぱり「またやってるー」みたいな顔をして、作業を続けているのでした。

## 《この瞬間に表れる子どもの姿》

どちらも園でよくある日常の風景で、特別何かがあったという場面ではありません。でも、この一瞬一瞬に、その時を生きている子どもがいて、その瞬間をともにできる幸せ、面白さを私は感じます。

あえて、解説をつけるなら、年長Y君の生命の感じ方が自然で、彼の家庭環境が背景にあるかもと想像したり、唐突に真っ当なことを言う年長児の会話に、まだらな知識を重ねながら認識を体系化していく年長児のプロセスを感じたりします。

牛乳仕分けでは、年少児でもこれまでの園生活の中で、泣き手のYちゃんやR君のことを周り子がよく知っているんだなあと思い、その関係性がそれぞれの個性が生きる協働のベースになるのかもと考えたりしました。

園でもご家庭でも、いろいろな一瞬があります。全てを捉えることは不可能ですが、面白さを見出す一瞬が増えるほど、子どもも私たち大人も幸せが増えるに違いないと思っています。

## 【1学期トピックス】

### ●初めて小中学校合同の全園引渡し訓練を実施

6月中旬に、全園児対象の引渡し訓練を学区内の小中学校と合同で行いました。当園では初めてとなるため、ルールの確認、職員配置等、重大災害に備えた準備の基本を見直すことができました。

保護者及び近隣の皆様のご協力に感謝致します。

### ●ネコバスが正式引退します。

2003年に導入されて以来、約20年に渡って園内で活躍してきたネコバスが、老朽化により、この1学期をもって正式引退します。（夏休みの間に園庭から撤去します）

約3年前に路上引退してからも、園庭で子ども達に親しまれ、色々な遊びの拠点となってきました。

長年のご愛顧ありがとうございました。

そして、ネコバスさん、長い間一緒に遊んでくれてありがとう！